

## 平成25年度 循環型社会に貢献できる産業人材育成事業実施報告書

学校名	宮城県古川工業高等学校	学科名	建築科	担当者職・氏名	教諭・遊佐忠行
事業名	解体木造建築物の構造材再利用促進の基礎的研究事業	対象となる産業廃棄物	木くず(木造建築物の構造材)		
産業廃棄物関連の授業実践の時間数	指導日数 86日, 指導時間数延べ250時間(授業 122時間, その他 128時間)				
事業の目的	産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた, 循環型社会に貢献できる技術者・技能者を育成する。また, 廃棄物の発生抑制や, リサイクル産業の振興並びに循環型社会について, 専門高校生として取り組むことのできる実践としての基礎的研究を各関係団体からの支援を受けて行う。				
事業概要	<p>解体予定の木造建築物の部材を採取し, 再利用可能な材料の補強方法を研究しながら, 規格材として加工し, 木工機械を活用した製作を行った。特に本校入学時に東日本大震災を経験した生徒の考えを反映させ, 避難所などで活用できる物品, また地域の保育園児用の木製玩具などの製作を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所内での活用を考えた簡易間仕切り(コンビネーションパネル)の製作</li> <li>・廃材を活用した棚の製作(大型ラック1, 教室後部にある個人利用棚の仕切り40)</li> <li>・部活動利用の屋外型木製倉庫の補修(廃材活用)</li> <li>・保育園児用木製椅子, 木製玩具の製作・提供(廃材活用)</li> <li>・ゴミ収集袋スタンドの設計・製作(廃材活用)</li> <li>・製作加工段階で出るカンナくずの利用(宮城県農業高校へ家畜の敷きわら材として提供)</li> </ul> <p>事業取り組みに際して, 宮城県解体工事業組合, 大工, 木工建具職人, 設計士と連携し, 専門的知識の学習と作業体験及び技術・技能指導を受けた。</p> <p>産業廃棄物の処理状況等現場見学と, 専門講師の指導による設計・製作工程を通じた実践的学習で, 地球環境に配慮した今後の産業活動に関与できる人材の育成に努めた。</p>				
記録写真					
事業による成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予測できない災害に対して避難所等で活用できる簡易間仕切りの製作を通し, 廃材(再生利用可能な木材)のリユース推進を図ることができた。</li> <li>・現場見学と専門的講師からの指導による実践的学習を通し, 地球環境に配慮した今後の産業活動に関与できる人材の育成が図られた。</li> <li>・地域の建設廃棄物処理企業や設計士, 大工, 木工職人との連携・協力体制が構築できた。</li> </ul>				
事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの地域の各種団体や企業と構築した連携・協力体制を活用して, 継続的な人材育成を図りながら, 解体材料の提供や各種現場見学・実習場所等を確保するためには, 今後も学校と地域連携・協力体制を維持していく何らかの事業が必要である。</li> <li>・今回製作した簡易間仕切り・木工家具を地域防災を進める団体(町内会など)や教育機関(幼稚園・保育園など)に寄付し活用していただけるよう関係機関と調整したい。</li> </ul>				